

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度第6回北諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・地域協議会会長会議について（公開）

### 【協議事項】

- ・自主的審議事項について（公開）

## 3 開催日時

令和2年12月10日（木）午後6時30分から午後7時20分

## 4 開催場所

上越市立北諏訪地区公民館

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員： 白木朝雄（会長）、高橋和彦（副会長）、浦壁隆一郎、大瀧修一、大瀧 壽、大館崇雄、久保田直美、澤海雄一、松矢 茂、室岡由美子（欠席2名）
- ・事務局： 北部まちづくりセンター：中村センター長、小池係長、霜越会計年度任用職員

## 8 発言の内容

### 【中村センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【白木会長】

- ・挨拶

- ・会議録の確認：室岡委員、大瀧壽委員に依頼

議題【報告事項】地域協議会会長会議について、事務局へ説明を求める。

#### 【中村センター長】

11月25日（水）に開催された「地域協議会 会長会議」の内容について報告させていただきます。

- ・資料No.1 「地域協議会会長会議 次第」、  
「令和3年度地域活動支援事業について（案）」に基づき説明

#### 【白木会長】

説明に対し、質疑を求めるがなし。

次に【協議事項】「自主的審議事項について」事務局へ説明を求める。

#### 【小池係長】

- ・資料No.2 「地域の課題について」に基づき説明

話題提供として、上越市「地域の宝」という認定制度があり、教育委員会の文化行政課で募集をかけ、今年度は60件の地域の宝を認定した。担当課に問い合わせたところ、今回申請がなかったのは、北諏訪区と有田区だけであった。何かあれば、ぜひ来年度申請してもらいたいという話があった。

#### 【白木会長】

説明に対し、質疑を求めるがなし。

北諏訪から地域の宝の申請が何もないという話だが、地域の宝は子どもたちだと思う。ある市議会議員が出馬する時に、「上越地域内で、ニート、不登校、精神障害者、身体障害者で、社会に出られない子どもたちが沢山いる。この子どもたちに適正な教育をして、独り立ちできるように社会に出してあげたい」という話をされていた。「人」が一番大事な宝だ。今、少子高齢化と叫ばれているが、上越市だけでも、社会に出ていけない子どもたちが大勢いる。本当はそういう話が出てきて、討議していれば一番良いのかと思う。

子どもたちは上越市の宝なので、28区の地域協議会で話し合い、そういった人たちのサポートが積極的にできれば良いのだが、実践に移すのはなかなか難しいのかもしれない。しかし取り組まないことには何も前に進まないのでもし取り組めるのであれば、協力していただきたいと思う。

ほかに何かないか。

### 【澤海委員】

前回欠席だったが、まとめてもらった意見を見ると、同意できるところもあるが、例えば、1番の人口減少についてということで、人口を増やすにはどうしたら良いかという話になっているが、これはなかなか難しい問題だと思う。

どう考えても日本全体の話だが、人口は減ってくるわけである。だから、減ってきた中でどう持続性を持つかということで、話し合わなければ意味がないと思う。人口を増やすにはどうしたら良いかは、まず短期的に何かをすれば、あり得るかもしれないが、人口減少があっても持続するような活力ある地域をどうしたら作っていけるかという方向性で話していくべきだと思う。

### 【白木会長】

人口減少対策で、若い人たちが地元に戻ってくるようにと言っても、それもなかなか難しい。企業が少なく、就職するところが無いので、戻ってきても雇用が無い。皆さんも経験しているように子どもを教育すると県外に行ってしまうので、地元に残っている子どもなんて、ほんの一握りである。だから、地元に戻ってくるように言ったら、行政手腕で対策を講じるしかない。いかに企業の誘致をするか。積極的に子どもたちを定着させるには、やはり企業の誘致しかない。

### 【大館委員】

先日、テレビでまちおこしのニュースが報道されていた。新潟県では都会から来て農業をやりたいという若者が出ていた。私はインターネットで北諏訪の歴史が何かないか調べたが、何もない。過去を調べると諏訪村になってしまう。なかなか北諏訪というのがなくて、できれば具体的なもので進めれば良いと思ったが、持続性のあるものでないと駄目なので、まちおこしみたいなものがあると良いのかと思う。

資料にもあるが、みんなが集まれる場所、学校の隣の畑や空いている所をもう少しうまく活用するか何かあればと思う。それを実現していくのはなかなか難しいかもしれないが、まちおこしの将来的なテーマがあると良いのかと思う。

### 【松矢委員】

北諏訪区において地域について考える組織としては、北諏訪地区町内会長連絡協議会、北諏訪区地域協議会、北諏訪まちづくり振興会とあるが、それぞれ色々考えても、やはりどこかまとめるような会があっても良いのではないか。地域協議会だけで考えても最終的な判断は、この中だけで決めたから北諏訪はこうしようとか、ちょっと無理なところ

ろがあるのではないかと思う。そのためには町内会長が集まって何かしなくてはいけないと思うし、北諏訪まちづくり振興会ができたので、あそこを中心にしてうまく回せば、この協議会にも色々な困ったことを持ち込んで、そのことについて審議するとか、色々できるのではないかと思うので、今ある3つの組織をうまくまとめるような組織を考えても良いのではないかと思う。

**【白木会長】**

地域をうまくまとめるような組織、それが北諏訪まちづくり振興会である。全部の町内会長も帰属されて、色々な部署に分かれてやってもらっている。まさに、北諏訪まちづくり振興会で、北諏訪区の色々なものを吸い上げて、どのようにしていこうか考えていくべきだし、今、松矢委員が言うように町内会長連絡協議会では、町内会長は自分の町内のことを考えていると思うので、全体的な事に関してはあまり協議をしたことがない。北諏訪まちづくり振興会の中でやっていけたら一番良いと思う。

ほかに何かないか。

**【澤海委員】**

今、白木会長がまとめたとおりでと思うが、北諏訪まちづくり振興会が、企画しながら行動も一緒にやるような組織ということで作られている。先ほどの地域の宝ではないが、北諏訪区で何が課題なのかが、なかなか出てこない。課題がはっきりしてくれば、その課題を乗り越えるためにどうしようというような全体の大きな意思の方向性が出てくると思うが、何故か北諏訪区は1つになる課題が見つけない地域だと思う。

それが例えば、北諏訪区地域協議会あるいは町内会長連絡協議会の中で、ここが問題だから北諏訪まちづくり振興会で揉んでくれないかというような問題提起が出てくれば有難いことだと思うが、そのところが、北諏訪区地域協議会でも全員が納得するような課題が出てこないことが問題である。そこを皆で議論しなければいけないのではないかと考えている。

**【白木会長】**

ほかに何かないか。

65歳以上が何パーセント以上だといわゆる限界集落になるのか。

**【小池係長】**

50パーセント以上である。

**【白木会長】**

北諏訪区も限界集落の域に入りそうな感じである。

#### 【小池係長】

自主的審議事項についてだが、澤海委員から「人口減少があっても、持続できる北諏訪区にするにはどうしたら良いか」という投げかけがあって、大きなテーマではあるが、やりがいのある良いテーマではないかと思った。暮らしの中で困っていることが、少子高齢化であると思うので、皆さんで意見を出し合い、課題解決のために地域活動支援事業を使って何かできることもあるかもしれないと思う。

#### 【澤海委員】

確かに大きなテーマとしてはそうだが、広すぎて議論が難しい。もう少しテーマを絞らないと議論ができないのではないかと思う。もう少し小さくするなら、例えば北諏訪小学校を50年先まで残すにはどうしたら良いかとか、具体的なテーマをいくつか出していったらどうかと思う。

将来的に北諏訪区から小学校が無くなったら、益々まとまりが無くなると考えている。

#### 【白木会長】

小学校の在り方については行政もきちんとシミュレーションしていると思うが、北諏訪小学校も人数が若干増えていても、それがいつまで続くかという懸念はある。小猿屋小学校が有田小学校に統合しているので、旧小猿屋小学校の前を通っても、子どもの姿がなく閑散としていて寂しい。北諏訪小学校はどうなるのかと思う。ここで、具体的に自主的審議事項をどうするか、結論を出さなくても良いのか。

#### 【小池係長】

今日、自主的審議事項のテーマを決めなくても構わないが、また次回以降テーマが出るまで地域の課題について話し合いを続けていただきたい。

#### 【高橋和彦副会長】

私は営業職だが、他の地域の人に「北諏訪区出身」だと話しても「それは、どこ」といった反応をされることが多い。ほとんどの人が「諏訪かね」と言う。住所は上千原だと言ってもわからない。

話をするたびに、なぜ北諏訪区で伝わらないのかと思うことが多い。上越市のファミリー綱引き大会の話をする「北諏訪区は強い」と知名度を感じる場合もある。しかし、ほぼ北諏訪区の場所さえ認識されていない。これもかなり問題ではないか。特に50～60代の人と話す機会が多いが、知名度が低い。もう少し地域で努力して発信していく

必要性があるかと思う。

地元だけが満足しているのも、それはそれで良いと思うが、北諏訪区は知名度が低いと実感している。

#### 【大館委員】

「北諏訪小学校を50年先まで残す」と言うのと長いと思う。長いスパンでも良いが、私たちの任期があと3年なので、テーマとしてはもう少し絞ったほうが良いと思う。

今、高橋和彦副会長からも話があったが、私も北諏訪区が「どこの近くか」と聞かれると「くるみ家族園」と答えるしかない。諏訪区のホームページを見ると、諏訪小学校の遠足でくるみ家族園に行っている。北諏訪区にはくるみ家族園があるので、そこを活用して具体的に進めていくのはどうか。

#### 【小池係長】

今、高橋和彦副会長も言われた、北諏訪区の良い所の発信、知名度のアップ、「北諏訪区の良さを発信することについて」というようなことを話し合っても良いかと思う。先ほどの「地域の宝」も探せば何か分かるのではないか。

#### 【白木会長】

今、小池係長から話のあった「北諏訪の宝」は、小学生が北諏訪区に何があるのか、かなり勉強している。北諏訪小学校からの情報をいただいて、北諏訪区から何を発信すれば良いか、子どものほうがよく知っているのではないか。私も3年生の社会科の授業で頼まれて話をしたが、子どもたちは純粋である。

自主的審議事項の案件は、次回の協議会までに各自で課題を考えてきて、その中で1番賛同を得たものを選択すれば良いので、そのようにお願いしたい。

次に「その他」について、事務局へ説明を求める。

#### 【小池係長】

次回の協議会日程については、現在諮問等の案件がないので、協議案件があれば会長と日程調整し、開催日をお知らせする。今後、来年度の地域活動支援事業の採択方針を決めていただく予定があるので、1月の下旬から2月の中旬にかけて開催したいと考えている。

#### 【白木会長】

- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。